

佐倉市立佐倉幼稚園のあり方に関する市民アンケート

佐倉幼稚園は、入園児が年々減少し、令和5年度の入園児は1名となりました。

このような状況を踏まえまして、教育委員会では令和5年7月に公立3園の閉園に関する方針を定め、議会で審議されましたが、賛成、反対が拮抗し、結果として、佐倉幼稚園は維持することとなりました。

新たな条例では、「1年を目途として、佐倉市立佐倉幼稚園の運営状況等について検討を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとする。」という附則が規定されています。

なお、令和6年度新入園児募集を行ったところ、6名が入園予定となっています。

つきましては、佐倉幼稚園のあり方について市民意向を把握するため、無作為抽出した18歳以上の市民2,000人を対象に佐倉幼稚園のあり方に関するアンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

アンケートに関するお願い

- ① 本アンケートでは、佐倉市立佐倉幼稚園についてお伺いします。ご回答いただく前に、5～6ページの佐倉市立佐倉幼稚園のあり方に関する現状と課題をご一読ください。
- ② アンケートはできるだけご本人がご回答ください。ただし、お一人で回答が難しいものは、ご家族の方と相談してご回答ください。
- ③ ご記入は、鉛筆、ボールペン等ではっきりとお書きください。

※アンケートは無記名方式で行い、統計的に処理します。目的以外に使用したり、ご回答していただいた皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

アンケートの返送方法

返送方法は、回答用紙の記入後に同封の返信用封筒に入れてご返送いただくか、スマートフォンやタブレット等を利用したWebからの回答が可能です。(どちらか一方の方法でご回答ください。)

1. 郵送の場合

お手数ですが、記入後の回答用紙を同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。(切手は不要です。)

2. Webの場合

スマートフォン等から右のQRコードを読み取るとアンケートフォームが表示されます。表示される設問に従って、QRコードの上に記載されているIDを入力し、続けてご回答ください。

ID:《ランダム文字列》

回答期限 1月17日(水)消印有効

お問い合わせ先

佐倉市 教育委員会 教育部 学務課 電話:043-484-6186 メール:gakumu@city.sakura.lg.jp

あなた自身のことについてお伺いします

設問1

あなたの年齢を教えてください。

1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代
5. 50代	6. 60代	7. 70代	8. 80代以上

設問2

あなたがお住いの地区を教えてください。

1. 佐倉地区	2. 臼井地区	3. 志津地区	4. 根郷地区
5. 和田地区	6. 弥富地区	7. 千代田地区	

佐倉市立佐倉幼稚園についてお伺いします

設問3

あなたは、5～6 ページに記載の「佐倉市立佐倉幼稚園のあり方に関する現状と課題」についてどれくらいご存じでしたか。(ひとつに○)

1. よく知っている
2. だいたい知っている
3. あまり知らない
4. ぜんぜん知らない

設問4

あなたは、5～6 ページに記載の「佐倉市立佐倉幼稚園のあり方に関する現状と課題」を踏まえて、今後の佐倉幼稚園についてどう思いますか。(ひとつに○)

1. 閉園はやむをえないと思う
2. どちらかといえば閉園はやむをえないと思う
3. どちらかといえば維持すべきであると思う
4. 維持すべきであると思う

設問5

設問4において、「1. 閉園はやむをえないと思う」、「2. どちらかといえば閉園はやむをえないと思う」を選んだ方に伺います。どのような点でそのように思いますか。あなたの考えに近いものを選択して○をつけてください。(いくつでも)

1. 令和5年度の新入園児が1名となり今後も園児数の増加が期待できない
2. 無償化により民間が選択しやすくなっている
3. 運営コストが過大である
4. 通園しやすい地域が限られている
5. 民間でも特別な支援が必要な幼児を受け入れている
6. 民間でもインクルーシブ教育が実施されている

設問6

設問4において、「3. どちらかといえば維持すべきであると思う」、「4. 維持すべきであると思う」を選んだ方に伺います。どのような点でそのように思いますか。あなたの考えに近いものを選択して○をつけてください。(いくつでも)

1. 公立だから
2. 少人数だから
3. 民間に比べて費用がかからない
4. 佐倉幼稚園に通う予定がある
5. 特別な支援が必要な幼児を受け入れている
6. インクルーシブ教育が実施されている

設問7

佐倉幼稚園のあり方を検討するにあたり、どういった視点を重視して検討すべきだと思えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。(3つまで選択可能)

1. クラス人数・集団
2. 運営コスト
3. 教育内容
4. 預かり保育などサービスの充実
5. 特別な支援を必要とする幼児の対応
6. インクルーシブ教育

設問8

自由意見

佐倉幼稚園のあり方に関してご意見がありましたら教えてください。

また、本アンケートの回答で補足することがあればこちらに記載ください。

佐倉市立佐倉幼稚園のあり方に関する現状と課題

アンケートを回答いただく前に、ご一読ください。

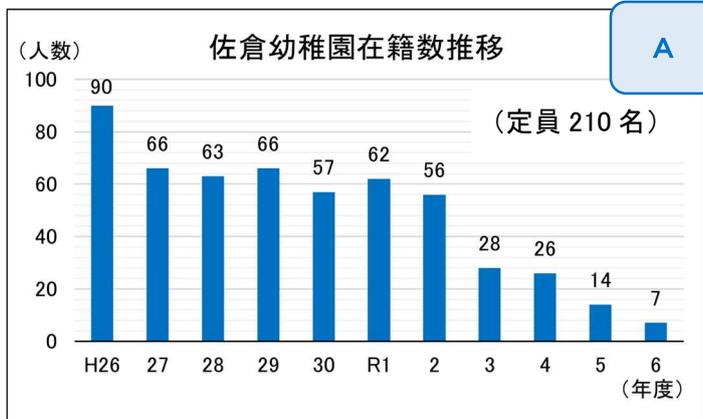
佐倉市立佐倉幼稚園の現状

佐倉幼稚園(2年保育)につきましては、入園児が年々減少し(グラフA)、令和5年度の入園児は1名となりました。

このような状況を踏まえまして、教育委員会では閉園に関する方針を定め、議会で審議されましたが、賛成、反対が拮抗し、結果として、佐倉幼稚園は維持することとなりました。

新たな条例では、「1年を目途として、佐倉市立佐倉幼稚園の運営状況等について検討を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとする。」という附則^{*}が規定されています。

なお、令和6年度新入園児募集を行ったところ、願書提出締切時点で、6名が入園予定となっています。



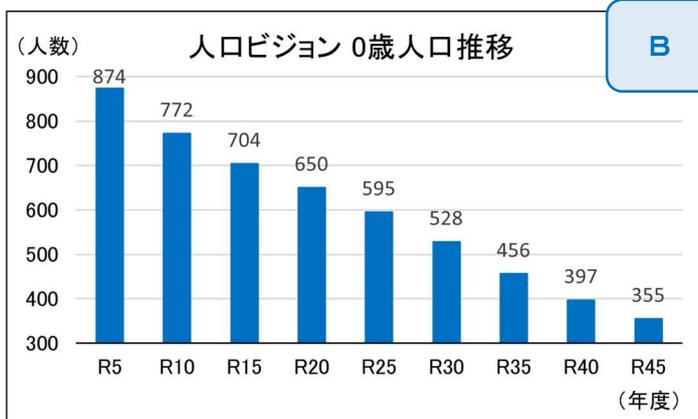
令和6年度は令和5年11月7日時点の予定です。

現状に対する課題

【1. 園児数の減少】

近年は、幼児教育・保育の無償化、働き方の多様化等に伴う保育ニーズが高まると同時に、人口減少・少子化が進展しています。

佐倉市人口ビジョンの推移(グラフB)や市の就学前人口(グラフC)の減少から、今後も園児の

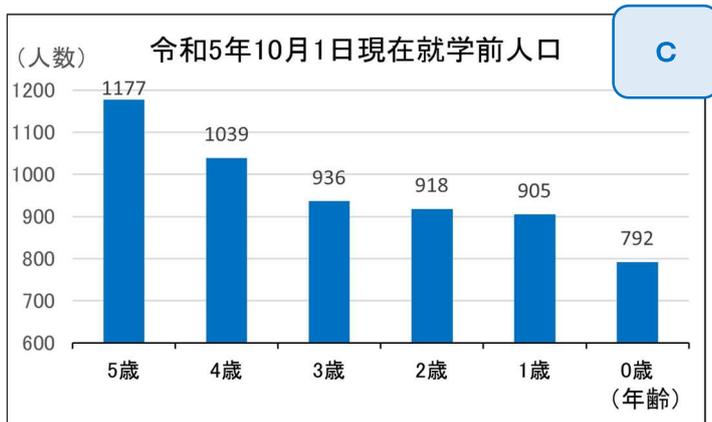


大幅な増加は期待しがたいものとなっています。

令和5年度時点では、人口ビジョンよりも出生率が低下し、少子化が進展している状況となっています。

⇒裏面に続きます。

^{*} 一時的な措置などを明記する部分のこと



年々減少している状況です。

【2. 幼児教育環境】

幼稚園設置基準では、幼稚園の一学級の幼児数は、35人以下を原則とすると定めています。

文部科学省を通じた調査研究では、幼児期に集団での関わりが十分確保されるためには、一定の集団が必要であるとし、1学級の幼児数として、4、5歳は20人以上、中でも5歳児は25人以上が望ましいという調査結果があります。

【3. 市内幼稚園等の状況】

市内の民間幼稚園・こども園においては、特色ある幼児教育が展開され、幼児教育を受けられる環境が整備されています。

現状では、市内幼稚園・こども園の利用者のうち、約99%の園児たちの幼児教育は民間幼稚園・こども園で担っている状況です。

なお、民間においても定員に空きがある状況となっています。

【4. 運営コスト】

運営コストは、令和4年度決算ベースで約8,800万円(人件費含む)となっています。

公立幼稚園については、幼児教育無償化(令和元年10月以降)により、保護者が保育料を負担する必要はなく、運営コストは市が負担している状態となっています。

【5. 支援が必要な幼児の対応】

公立がすべての特別な支援が必要な幼児を受け入れているわけではなく、民間においても献身的に特別な支援を必要とする幼児の受け入れと教育に取り組んでいる状況です。

さらに、来年度からは、障がい者への合理的配慮の提供が民間においても義務化され、市も民間も同じ立場となります。

なお、相談があった場合は、県や関係機関と連携を図りながら対応に努めております。